

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	奈良県立医科大学
設置者名	公立大学法人奈良県立医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信			35 単位	35 単位	19 単位	
	看護学科	夜・通信			111 単位	111 単位	13 単位	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>実務経験のある教員による授業科目一覧(医学科)」、「実務経験のある教員による授業科目一覧(看護学科)」をシラバスに記載し、公表しています。</p> <p>本学ホームページ</p> <p>医学科 (大学概要→教育情報の公表→6 教育要項 →令和6年度→臨床医学 I P115)</p> <p>看護学科 (大学概要→教育情報の公表→6 教育要項 →令和6年度→看護学科 1~4年 P275)</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	奈良県立医科大学
設置者名	公立大学法人奈良県立医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ（大学概要） https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/shokai/soshiki.html#Anchorlink03

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	現職：公立大学法人奈良県立医科大学 副理事長 前職：奈良県知事公室長	令和6年4月1日～令和8年3月31日	副理事長は、法人を代表し、理事長を補佐して法人の業務を掌理する。 副理事長は、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行う。
常勤	現職：公立大学法人奈良県立医科大学 総務・経営担当理事 前職：奈良県職員	令和6年4月1日～令和8年3月31日	理事は、理事長及び副理事長を補佐して法人の業務を掌理する。 理事は、理事長があらかじめ指定した順序により、理事長及び副理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び副理事長が欠員のときはその職務を行う。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奈良県立医科大学
設置者名	公立大学法人奈良県立医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①作成過程 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等の項目についての記載方法を定めたシラバス作成要領に則り、シラバスを作成しています。</p> <p>②作成・公表時期 一般の方も閲覧可能な大学ホームページ内に教育情報の公開ページを設け、全ての学年の全授業科目のシラバスを毎年度 4 月頃に公表しています。 また、教育内容、教育方法の評価等に関する事項について協議する教育評価委員会(外部委員 8 を含む。)を設置し、授業計画(シラバス)の評価を毎年度実施しています。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学ホームページ(教育要項) https://www.narmed-u.ac.jp/university/gaiyo/kyoikujoho.html</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

<成績の評価について> (シラバス各科目ページ)

- ・全授業科目について、シラバスに予め成績評価の基準を記載し、明示しています。(定期試験(60%)、レポート(30%)、受講・実習態度(10%)等)

<成績認定、進級判定及び卒業認定について>

(医学科：履修要領第8条、看護学科：履修要領第9条)

- ・進級時の成績認定及び進級判定は、各教育協議会又は教務委員会から提出された成績資料に基づき、成績認定会議(看護学科は成績判定会議)で審議を行い、認定をしています。
- ・成績認定及び進級判定の結果は、学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が決定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとしています。

<定期試験の評価方法・基準について>

(医学科：履修要領第7条)

- ・各科目について、授業時間の3分の2以上出席し、かつ担当教員の承認を得なければ定期試験を受けることができません。
- ・成績は100点法によって表示し、60点以上をもって合格とする。60点未満の者については、原則として再試験を1回を行い、定期試験の可否を判定しています。

(看護学科：履修要領第7条・第8条)

- ・各科目について、授業時間の3分の2以上(実習科目にあたっては5分の4以上)出席しなければ単位認定試験等を受けることができません。
- ・成績は100点を満点とし、80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可、60点未満を不可として評価する。60点未満の者については、担当教員が認めた場合に限り、願い出により再試験を行うことがあり、再試験による成績評価は60点以上を可、60点未満を不可とする。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>医学科、看護学科ともに、科目毎に定期試験やレポート、授業への取り組み状況等を元に総合的に評価を行っており、評価方法についてはシラバスに記載し、公表しています。(例：定期試験 40%、課題レポート 40%、授業や演習への参加態度 20%など)</p> <p>医学科については、総合評価結果を素点とし、60 点以上を合格、60 点未満を不合格としています。また、各教育課程ごとの席次を学生個別に通知しています。</p> <p>看護学科については、総合評価結果を優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(60 点未満)といった指標で区分し、成績の評価を行っています。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>大学ホームページ(教育要項) https://www.narmed-u.ac.jp/university/gaiyo/kyoikujoho.html</p> <p><算出方法> 教務事務システムにて全学生に周知</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

シラバスにあらかじめ「卒業の要件(ディプロマ・ポリシー)」を明記するとともに、大学HPにも掲載しています。

◆ディプロマ・ポリシー

【医学科】

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

【看護学科】

絶え間なく変化する社会のニーズに対応し、地域社会に貢献することができる看護師・保健師を育成する。所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修の上、履修要領で定められた卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 倫理観、態度、意欲
生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観を持ち、自ら学習し成長し続ける姿勢を身につけている。
2. 創造性、探究力、国際的視野
幅広い教養と国際的視点から看護に関する課題を探究できる。
3. 知識、批判的思考力
対象者の健康、環境に関する知識を修得し、諸問題を科学的根拠や批判的思考に基づいて検討できる。
4. 実践力、応用力、共感能力
対象者の健康状態と生活を的確にとらえ、人への尽きない関心と思いやりをもって看護技術を提供できる実践力を身につけている。
5. コミュニケーション能力、チームマネジメント
地域社会における健康課題を把握し、保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントができる。

卒業の認定については教授会議及び卒業判定会議で審議し、適切に判定を行っています。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページ(教育要項)
[https://www.naramed-
u.ac.jp/university/gaiyo/kyoikujoho.html](https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kyoikujoho.html)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	奈良県立医科大学
設置者名	公立大学法人奈良県立医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/johokokai/zaimu.html 奈良県公報（トップページ） https://www3.pref.nara.jp/koho/
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/johokokai/zaimu.html 奈良県公報（トップページ） https://www3.pref.nara.jp/koho/
財産目録	—
事業報告書	大学ホームページ https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/johokokai/zaimu.html
監事による監査報告（書）	大学ホームページ https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/johokokai/zaimu.html

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：公立大学法人奈良県立医科大学 年度計画 対象年度：平成30年度～令和6年度）
公表方法： https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekaku-hyoka/gyomujoho2/gyoumujoho2.html
中長期計画（名称：公立大学法人奈良県立医科大学 中期目標・中期計画 対象年度：平成30年度～令和6年度）
公表方法： 大学ホームページ https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekaku-hyoka/gyomujoho2/gyoumujoho2.html 奈良県ホームページ（中期目標） https://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=21928

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：

自己点検・評価の結果について、大学 HP で公表しています。

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekaku-hyoka.html>

IR レポートをインターネットにより公表しています。

<https://drive.google.com/drive/folders/1L4vWsSRtuHjJKRZam5hRlvAazJ95Ey3q>

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

「大学機関別認証評価」及び「医学教育分野別認証評価」の結果について、大学 HP で公表しています。

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekaku-hyoka.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： ホームページ ）
<p>(概要) 奈良県立医科大学の目的を記載します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識、技能および生命倫理、医の倫理を修得させるとともに、将来、臨床、研究、教育のいずれの分野でも活躍できる独創性と応用力および豊かな人間性を身につけた人材を育成する。2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的、先端的研究を学際的、国際的に推進することを主眼とし、研究、教育、臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果たす医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的・高度医療を担う。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： ホームページ ）
<p>(概要) ディプロマ・ポリシーを記載します。</p> <p>【医学科】</p> <p>所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。 <p>【看護学科】</p> <p>絶え間なく変化する社会のニーズに対応し、地域社会に貢献することができる看護師・保健師を育成する。所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修の上、履修要領で定められた卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。卒業時には以下の能力が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 倫理観、態度、意欲 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観を持ち、自ら学習し成長し続ける姿勢を身につけている。2. 創造性、探究力、国際的視野 幅広い教養と国際的視点から看護に関する課題を探究できる。3. 知識、批判的思考力 対象者の健康、環境に関する知識を修得し、諸問題を科学的根拠や批判的思考に基づいて検討できる。4. 実践力、応用力、共感能力 対象者の健康状態と生活を的確にとらえ、人への尽きない関心と思いやりを

<p>もって看護技術を提供できる実践力を身につけている。</p> <p>5. コミュニケーション能力、チームマネジメント</p> <p>地域社会における健康課題を把握し、保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： ホームページ ）</p> <p>（概要）カリキュラム・ポリシーを記載します。</p> <p>【医学科】</p> <p>1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育</p> <p>教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。</p> <p>2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得</p> <p>医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。</p> <p>① 教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。</p> <p>② 基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。</p> <p>③ 臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、臨床実習前 OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、臨床実習生（医学）として臨床実習に参加させる。</p> <p>④ 臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点で臨床実習後 CC OSCE を実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。</p> <p>3. 国際的な視野と科学的探究心の育成</p> <p>すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。</p> <p>4. 医療を通じた地域社会への貢献</p> <p>医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。</p> <p>【看護学科】</p> <p>医学部看護学科であることを最大限に生かし、医学教育と連携して、ディプロマ・ポリシーの5つの能力を習得するために看護教育カリキュラムを構成する。おいて看護に関する研究能力を養う科目を配置する。</p> <p>1. 教育内容</p> <p>(1) 系統的・段階的に学修できるよう、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3つの区分を設け、カリキュラムを構成する。</p> <p>(2) 基礎分野は、「人間・社会の理解」及び「国際理解」の区分で構成し、看護</p>

職者に求められる豊かな人間性の基盤となる倫理観や学び続ける姿勢、国際的視野、批判的思考力及びコミュニケーション能力を養う。また、医学看護学合同科目を配置し、多職種連携の基盤を育成する。

(3) 専門基礎分野は、「生活・環境の理解」及び「健康の理解」の区分で構成し、対象者の健康や看護の基礎となる知識を養う。

(4) 専門分野は、「看護学の基本」、「看護学の展開」、「看護学の発展と探求」及び「公衆衛生看護学」の区分で構成する。「看護学の基本」、「看護学の展開」及び「公衆衛生看護学」では、修得した知識を基盤とする批判的思考力、実践力、応用力及び共感能力を養う。「看護学の発展と探求」では、それまで養った能力を統合・発展させ、看護研究能力やマネジメント能力を養う。

2. 教育方法

授業形態は講義・演習・実習とし、特に専門分野においては、概論・援助論の構成で理論と実践が融合できる配置とする。主体的な学習を推進するために、アクティブ・ラーニングを基本とする多様な学修方法の提供を行う。

3. 学修成果の評価

各科目の学習成果は、シラバスに定めるとおり、定期試験、レポート、実技及び授業への取り組み状況等によって評価することとし、成績の評価基準は、本学医学部看護学科授業科目履修要領に定める。

入学者の受入れに関する方針（公表方法： ホームページ ）

（概要）アドミッションポリシーを記載します。

【医学科】

＜アドミッションポリシー（入学受入れの方針）＞

理念を踏まえ、地域の医療と世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

＜医学部医学科が求める学生像＞

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人

医師に求められる旺盛な科学的探求心、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自ら問題を解決しようとする主体性を持った人を求めます。加えて、豊かな人間性、高い倫理観ならびに社会性を有する人を求めます。

2. 患者の立場に立って判断し、患者が安心して受診できる医師となれる人

医師には医学的知識とともに、良好な患者・医師関係を築くことができる十分なコミュニケーション能力、他職種と連携しチーム医療をリードできる能力が必要です。医師として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに、協調性に優れた人を求めます。

3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

地域医療に貢献するとともに、国際的にも活躍できる医師・研究者を育成します。入学後、世界の医学界でも活躍できる意欲と能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

＜入学選抜の基本方針＞

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、いずれの入試においても、大学入学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

【一般選抜（前期日程及び後期日程）】

本個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識とそれを利活用し

た思考力、判断力及び表現力を確認します。さらに、面接を行い、本学のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに係る資質を確認します。

【学校推薦型選抜】

緊急医師確保枠をはじめ、地域における高度な医療を推進し発展させることを目指す地域枠への入学を希望する人を対象に行います。個別学力検査、面接等で将来、地域医療・医学に貢献しようとする志し及び本学のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに係る資質を確認します。

【看護学科】

＜アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）＞

本学は、医療の分野において看護学の立場から社会に貢献できる人材を育成するため、次のような資質を持った人を求めています。

＜医学部看護学科が求める学生像＞

1. 自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人

看護は人々の健康にかかわる日々の生活を支える営みであり、対象となる人の考えや気持ちを理解し、信頼関係を築くことが大切です。そのために、人との交流を大切にし、多様な価値観を受け入れ、他者と信頼関係を築ける豊かな人間性と高い倫理観を持つことを求めます。

2. 幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人

看護の専門的知識を学ぶためには、その前提となる基礎学力を身につけておくことが必要です。そのうえで、看護の対象となる人を多面的に理解して、科学的根拠のある看護を探求し、努力を惜しまず学習する姿勢を求めます。

3. 国際的な視野で考え行動できるとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人

人々の健康を取り巻く社会は目まぐるしく変化します。地域のみならず国際社会に関心を持ち、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意をもって行動できる人を求めます。

4. 奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人

卒業生には、看護学とその関連領域においてマネジメント能力を発揮し活躍できることが期待されます。本学の理念および教育目標を十分に理解し、奈良県内の医療機関において看護職者として貢献する明確な目標をもっている人を求めます。

＜入学者選抜の基本方針＞

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度を測ります。また、個別学力検査では、小論文試験により、図表の解釈を含めた理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

【学校推薦型選抜】

卒後、奈良県内で活躍し、地域医療に貢献しようとする積極的な意志を持つ学生を対象とします。調査書、推薦書及び志望理由書によって、高等学校教育段階において目指す基礎学力の達成度と学習への意欲をみます。また、個別学力検査

では、小論文試験により、理解力、思考力、表現力及び論理的思考力等の看護学を学ぶために必要な能力を備えているかを評価し、面接試験により、学ぶ意欲や看護への関心を確認します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/shokai/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
医学部医学科	—	38人	27人	46人	142人	0人	253人
医学部看護学科	—	10人	3人	13人	7人	0人	33人
教養教育部門	—	4人	6人	5人	2人	0人	17人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				230人			230人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.naramed-u.ac.jp/university/kenkyu-sangakukan/database.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>教員を対象とした研修会を定期的実施するとともに、新任教員の受講義務化を徹底している。</p> <p>また、効果的な教育手法の普及を図るため、研修会の実施形式を従来までの聴講型のみではなく、討論形式の参加型の講演も取り入れる等、研修形式及び研修内容等を工夫し実施している。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部医学科	113人	113人	100%	683人	692人	101.3%	1人	1人
医学部看護学科	85人	85人	100%	340人	339人	99.7%	0人	0人
合計	198人	198人	100%	1023人	1031人	100.8%	1人	1人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部医学科	109人 (100%)	0人 (0%)	103人 (94.5%)	6人 (5.5%)
医学部看護学科	86人 (100%)	6人 (7.0%)	74人 (86.0%)	6人 (7.0%)
合計	195人 (100%)	7人 (3.6%)	177人 (90.8%)	11人 (5.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 奈良県立医科大学附属病院				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
医学部医学科	113人 (100%)	94人 (83.2%)	9人 (8.0%)	8人 (7.0%)	2人 (1.8%)
医学部看護学科	85人 (100%)	82人 (96.5%)	2人 (2.3%)	1人 (1.2%)	0人 (0%)
合計	198人 (100%)	168人 (84.9%)	18人 (9.1%)	9人 (4.5%)	3人 (1.5%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>一般の方も閲覧可能な大学ホームページ内に教育情報の公開ページを設け、全ての学年の全授業科目のシラバスを毎年度公表しています。</p> <p>また、教育内容、教育方法の評価等に関する事項について協議する教育評価委員会（外部委員8名及び学生委員で構成）を設置し、授業計画(シラバス)の評価を毎年度実施しています。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【学修成果の評価について】</p> <p>医学科、看護学科ともに、科目毎に定期試験やレポート、受講・実習態度等を元に総合的に評価を行っており、評価方法についてはシラバスに記載し、公表しています。</p> <p>看護学科については、上記総合評価結果を優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(60点未満)といった指標で区分し、成績の評価を行っています。</p> <p>医学科については、上記総合評価結果を素点とした絶対評価を行っています。</p> <p>【卒業又は修了の認定について】</p> <p>シラバスにあらかじめ「卒業の要件」を明記するとともに、大学HPにも掲載しています。また、卒業の認定については教授会議及び卒業判定会議で審議し、適切に判定を行っています。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	1年生 47 単位+170 時間 2～4 年生 1, 998 時間 5、6 年生実習 72 週+112 時間	有・無	単位
	看護学科	131 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

[https://www.narmed-](https://www.narmed-u.ac.jp/university/gaiyo/shokai/documents/daigakugaiyo2023haichizu.pdf)

[u.ac.jp/university/gaiyo/shokai/documents/daigakugaiyo2023haichizu.pdf](https://www.narmed-u.ac.jp/university/gaiyo/shokai/documents/daigakugaiyo2023haichizu.pdf)

<https://www.narmed-u.ac.jp/library/index.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
医学部	医学科	535,800 円	(県内) 282,000 円	85,850 円	保険料・同窓会費
			(県外) 802,000 円	85,850 円	保険料・同窓会費
	看護学科	535,800 円	(県内) 282,000 円	28,000 円	保険料・同窓会費
			(県外) 423,000 円	28,000 円	保険料・同窓会費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

【医学科】

成績不振者に対して、6年間を通じたフォローアップ体制を整備するため、3～5年次の成績下位者にメンターを配置し、学習面だけでなく生活面についてもペースメーカーとなって学生をフォローアップすることや、1～2年次の成績不振者へは教育部長等から面談を行うフォローアップ体制を新たに構築し、修学支援を実施している。

【看護学科】

学生一人ひとりに対してアドバイザー教員を配置し、日々の面談を通じてアドバイザー教員から修学に係る支援を行っている。

【授業料等の徴収猶予】

所定の手続きにより、分納または延納の申請をし、正当な理由と認められた場合は、分納または延納を認める。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

【医学科】

- ・ 緊急医師確保枠で入学した学生については、地域医療学講座教授が実施
- ・ 研究医枠で入学した学生については、教育開発センター教育教授が実施

【看護学科】

- ・ アドバイザー教員が実施

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 下記のとおりホームページにて公表しています。

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/gakusesekatsu/sekatsusupport/kenkokanrinitsuite.html>

【健康管理センター】

学生のみなさんの健康管理と健康増進をはかるために、定期健康診断や健康相談、病気やケガの対応などを行っています。

利用時間：月～金曜日 9 時 00 分～17 時 00 分

場 所：教育研修棟 1F

【カウセリングルーム】

学生生活を有意義に過ごせるよう学生へのきめ細かい対応を行うため、臨床心理士が、メンタルヘルスに関わる相談に応じています。

開設時間：毎週月曜日 11 時 00 分～19 時 00 分（12 時～13 時を除く）

申込方法：予約制

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

大学 HP や大学ポータルで、「教育上の目的等」、「入試」、「進路」、「教員」、「キャンパス」、「学部・研究科等の特色」、「教育課程（カリキュラム）」、「学費・奨学金等」の情報を公表しています。

大学 HP (教育情報)

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kyoikujoho.html>

大学ポータル

<https://portraits.niad.ac.jp/univ/outline/1264/1264.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。